

交流電圧・電流トランスデューサ

交流電圧・電流トランスデューサは、交流の電圧・電流を直流の電圧・電流信号に変換するとともに入・出力絶縁を行います。マイコン利用制御装置などのアナログデータ入力用に最適です。独自の実効値方式によりひずみ波形でも正確に直流変換できます。

WH7シリーズ

■特長

- 補助電源はAC85～264V, DC24V, DC110Vを選定でき、耐圧AC2000V1分間、4ポート絶縁です。(第1・第2出力間はAC1000V1分間)
- 入力・出力間は変成器により絶縁しています。
- 第1出力信号はパソコンローダWH7PDにて変更することが可能です。(電圧⇄電流の変更は不可)

■用途

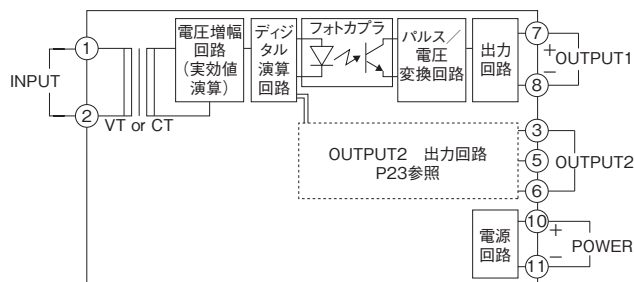
- 交流制御回路・動力回路の中央監視・記録

■仕様

形式	WH7AU
方式	実効値
基準精度	±0.4%
温度特性	±0.2%/10℃
応答時間	0.5s以下(0→90%)
入力信号	電流 0～1A, 0～5A(約1VA)
(AC) ^{※1}	電圧 0～110V, 0～150V(約0.5VA)
瞬時過負荷	入力 1)電流:定格入力の10倍(3秒間) 2)電圧:定格入力の1.5倍(10秒間)
第1出力信号 (負荷抵抗)	電圧(DC) 0～5V, 0～10V, 1～5V (1kΩ以上)(2kΩ以上)(1kΩ以上) 電流(DC) 0～20mA, 4～20mA (750Ω以下)(750Ω以下)
第2出力信号	電圧(DC) 1～5V (1kΩ以上) 電流(DC) 4～20mA (350Ω以下) 伝送出力 ^{※2} RS-485, Tリンク
調整	ゼロ調整範囲:約-5～+5% スパン調整範囲:約95～105% 調整器(WH7AJ)使用 →第1出力のみ調整可能 パソコンローダ(WH7PD)使用 →第1,第2出力共調整可能
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)
耐電圧	入力-出力-電源-大地間 AC2000V(1分間) 第1出力-第2出力間 AC1000V(1分間)
補助電源	AC AC85～264V, 50/60Hz DC DC24V±10%, DC110V±10%
消費VA, 消費電流	AC100V時 約5VA(約5.5VA) AC200V時 約7.5VA(約8VA) DC24V 約120mA(約140mA) DC110V 約50mA(約55mA)
使用温度・湿度範囲	-5～+55℃ 90%RH以下(結露なきこと)
質量	約170g

※1 入力約5%以下は出力0%としています。
 ※2 RS-485のアドレス設定はパソコンローダWH7PDにて行います。

■ブロック図

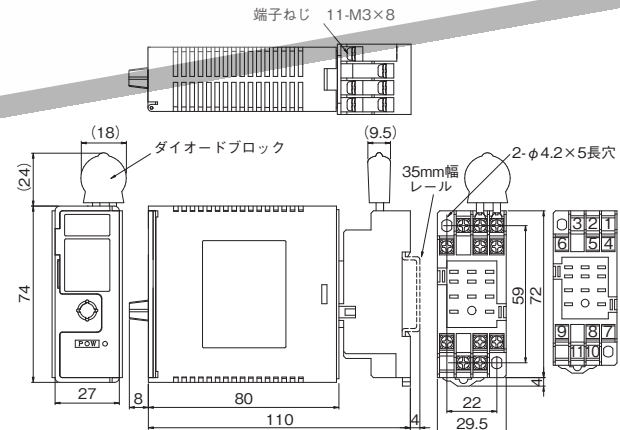


■形式(=商品コード) 説明

WH7AU-□□□□1		設計順位
入力信号		補助電源
01 AC0～1A		0 AC85～264V, 50/60Hz
05 AC0～5A		3 DC24V±10%
11 AC0～110V		4 DC110V±10%
15 AC0～150V		
第一出力信号		第二出力信号
A DC1～5V		A DC1～5V
B DC0～5V		H DC4～20mA
C DC0～10V		V RS485伝送出力
H DC4～20mA		X Tリンク伝送出力
P DC0～20mA		Y なし

(注1) 電流入力品にはダイオードブロックが付属されています。
 (注2) 計器用変圧器(VT)の出力を変換して指示計接続に使用する場合、定格入力:15をご確認ください。

■外形寸法図(単位: mm)



■外部接続図

